

# JTOS Version 3.5

## セットアップ ガイド

---

2020年4月1日  
公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

1	ご注意.....	2
2	システム要件.....	3
3	インストール手順.....	4
3.1	Microsoft .NET Framework 4.6 について.....	4
3.2	JTOS 一式のインストール.....	4
3.3	Excel マスターシートのテンプレートのコピー.....	5
3.4	ローカルメンバーを扱う場合.....	5
3.5	JTOS の初期設定.....	5

## 1 ご注意

---

このソフトウェアの著作権は、公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟にあります。  
このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。

## 2 システム要件

---

このソフトウェアを使用するためには次のものがが必要です。

### ハードウェア

- パソコン  
PC/AT 互換
- CPU  
Intel 互換。
- メモリ  
256MB 以上。
- ハード・ディスク・ドライブ  
空き領域 100MB 以上
- ディスプレイ  
XGA(800×600 ドット)以上。256 色以上
- プリンタ  
Windows 対応ページプリンタ
- サウンド機能  
スピーカから音がでることを推奨。(入力時のエラー音のため)

### ソフトウェア

- オペレーティング・システム  
Windows10、Windows8.1、Windows8 それぞれの日本語版。(32bit 版、64bit 版の両方に対応)  
但し、マイクロソフトがサポートを終了したバージョンに関しては、JTOS のサポートも終了します。  
既にサポートが終了している Windows のバージョンについては  
Windows XP では動作しません。  
Windows Vista、Windows 7 での動作は保証しませんが、動作するものと思われます。
- Adobe Acrobat Reader DC  
インストールされていない場合は、インストーラにダウンロードサイトのリンクがありますのでインストールすることができます。
- Microsoft Excel 2010 以降  
必須ではありませんが、インストールされていない場合には、一部の機能が使用できません。(Excel 形式の競技会報告書を作成することができません)

### インターネット接続環境

- パソコンがインターネットに接続され、電子メールが使えること。  
必須ではありませんが、強く推奨します。インターネットに接続されていない場合、一部の機能が使用できません。(V3.5 では、報告書送信、世界同時大会等)

### 3 インストール手順

インストールを行うためには、インストールの権限を持ったユーザでサインインする必要があります。Administrator あるいは Administrator の権限のあるユーザでサインインしてインストールしてください。詳しくはパソコンの管理者にお尋ねください。

パソコンを複数人で共有して使用する場合は、それぞれのアカウントを作成することをお勧めします。特に複数のクラブで使う場合は、必ずアカウントを別にしてください。アカウントの作成に関してはパソコンの管理者にお尋ねください。

#### 3.1 Microsoft .NET Framework 4.6 について

JTOS3.5 では、Microsoft .NET Framework 4.6 が必要です。インストールされていない場合（Windows10 ではデフォルトでインストールされています）には、事前にインストールすることもできますが、Jtos を起動したときにメッセージが出ますので、そのときにインストールすることもできます。

#### 3.2 JTOS 一式のインストール

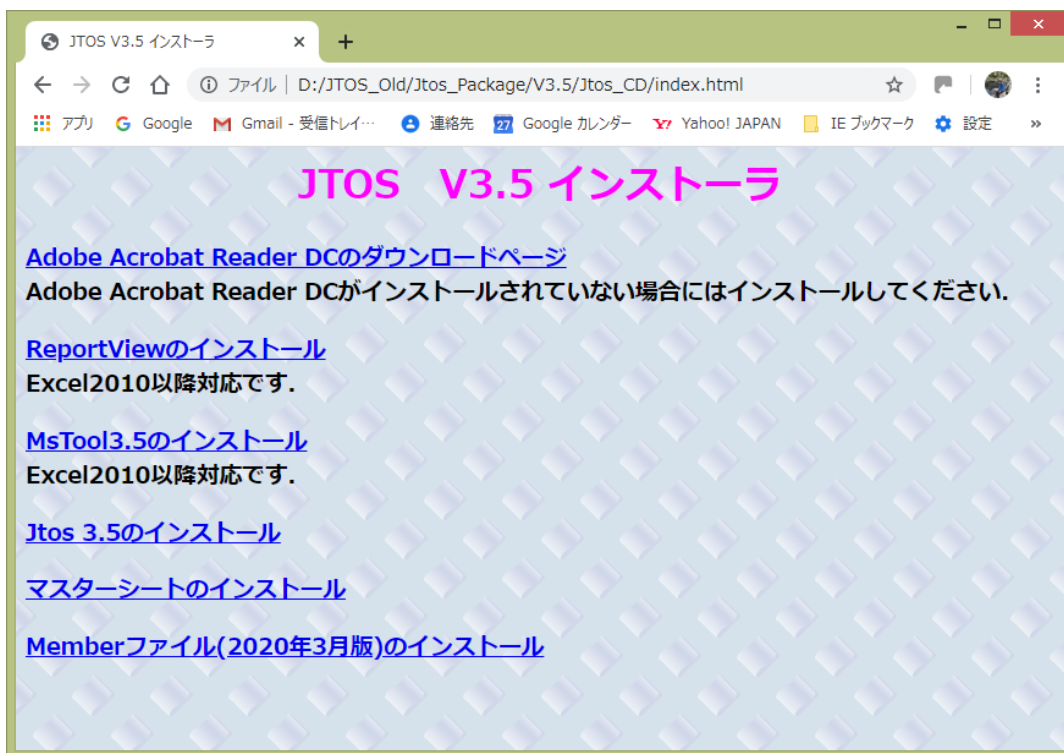


図 3-1

JTOS CD を挿入します。図 3-1 のようなフォームが表示されます。もし表示されない場合には、エクスプローラで CD-ROM のドライブのファイルを表示して、index.htm をダブルクリックしてください。

図 3-1 のフォームで必要に応じて、上から順番にインストールを行ってください。図 3-2 のフォームが表示された場合、何れも[実行]ボタン、[実行する]ボタンをクリックしてください。この後は画面の指示に従ってください。ブラウザによっては、クリックしたときに実行動作が行われず、ダウンロードを促す場合があります。その場合にはダウンロードしてから実行してもよいですが、マスターシートのインストールと Member ファイルのインストールに関してはそれできません。その場合には、エクスプローラで、JTOS CD の MasterSheet フォルダ内にある MsInst、MbInst を実行してください。

また、図 3-3 のようなフォームが表示された場合、[このプログラムは正しくインストールされました]をクリックしてください。

## JTOS セットアップ ガイド

以上でインストールは完了です。Administrator でサインインしていた場合はサインアウトしてください。以降の作業は、通常使うユーザでサインインして行ってください。



図 3-2

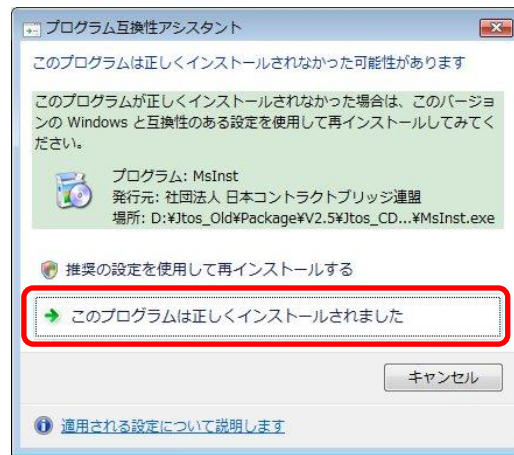


図 3-3

### 3.3 Excel マスターシートのテンプレートのコピー

この操作は必ずしも必要ではありません。Excel でマスターシートを扱う場合に必要です。エクスプローラ等を使って、CDROM の¥MasterSheet¥Excel にあるファイルをパソコンの適当な場所にコピーしてください。

### 3.4 ローカルメンバーを扱う場合

ローカルメンバーを扱う場合には、LmbInst をインストールする必要があります。CDROM の¥LmbInst にある SetupLmbInst.exe を実行してインストールを行い、さらに CDROM の¥LmbInst にある LocalMember.xlsx をパソコンの適当な場所にコピーしてください。今回行わなくても後で行うこともできます。LmbInst は今回バージョンアップしておらず、以前のバージョンと同じです。

### 3.5 JTOS の初期設定

この操作は、そのパソコンで初めて JTOS を起動した場合に行います。バージョンアップした場合は不要です。

Jtos を管理者として実行してください。図 3-4 のようなユーザ情報を登録するフォームが表示されます。このフォームが表示されず JTOS 起動ガイドが表示される場合には、既に登録済みですので登録不要です。



図 3-4

表 3-1

設定項目	説明・注意事項
クラブ・コード	JCBL が割り当てたコードを入力してください。(半角)
クラブ名	クラブの名称。
分類	JCBL が割り当てた分類を選択してください。
代表者	[変更]ボタンをクリックして入力してください。
メールアドレス	このパソコンから送受信可能なメールアドレスを入力してください。
電話番号	連絡先電話番号を入力してください。
ライセンス・キー	JCBL が割り当てたライセンス・キーを入力してください。
送信オプション	
送信用(SMTP)サーバ	SMTP サーバを設定してください。電子メールのアカウントを設定したときと同じものです。確認方法は、電子メールのソフトを起動して確認します。ソフトの種類により確認方法が異なります。
ユーザ名	通常は設定不要です。インターネットプロバイダにより必要な場合は、送信用サーバのユーザ名を指定します。
パスワード	ユーザ名を設定した場合のパスワード。ユーザ名が空の場合にはパスワードも空にしてください。
SMTP ポート番号	インターネットプロバイダとの契約に従ってください。
SSL を使用する	インターネットプロバイダとの契約に従ってください。
表題エンコード	Unicode (UTF-8)を選択してください。

入力を終わったら、[OK]ボタンをクリックしてください。図 3-5 の [Jtos 起動ガイド]が表示されますので右上の[×]ボタンをクリックして閉じてください。図 3-6 の Jtos フォームが表示された状態になります。

ちなみに、図 3-6 の左下部にはメンバーデータの年月が表示されています。



図 3-5 Jtos 起動ガイド

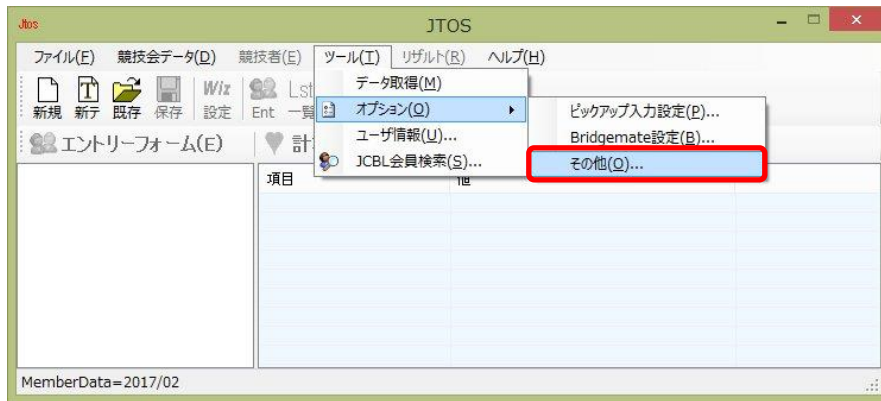


図 3-6 Jtos フォーム

メニューの[ツール]–[オプション]–[その他]をクリックしてください。[オプション]フォームが表示されます。[システム]タブをクリックしてください。

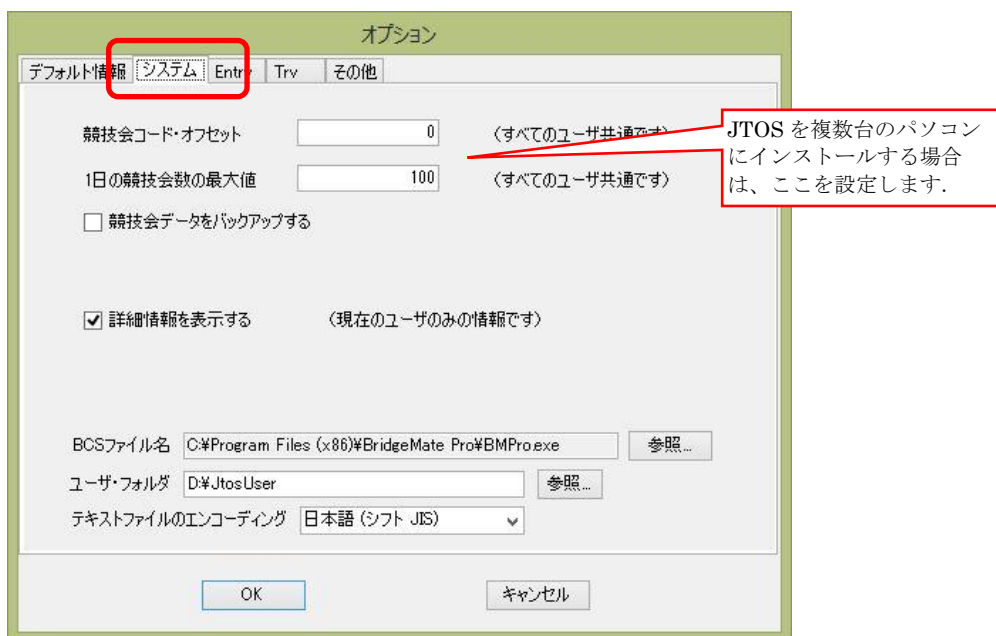


図 3-7

パソコンが1台のみのユーザは、デフォルトのまま変更する必要がありません。複数台でJTOSを使う場合、それぞれのパソコンでコードが重複しないように割り当ててください。例えば、8台保有している場合、1台目のパソコンでは、オフセット=0、競技回数最大値=10とすると、そのパソコンでは1日に最大10の競技会を開催することができ、そのコードは0~9となります。2台目のパソコンでは1台目と重ならないようにするためにオフセット=10とします。以下同様に8台目のパソコンではオフセット=70、競技回数最大値=10とします。コードが重なると競技会報告書の番号が重なることになり正しく報告できません。ここで設定した内容は、すべてのユーザで共通の設定として保存されます。

競技会データの予期しない消失を防ぐために、バックアップ機能があります。この機能を使用する場合には[競技会データをバックアップする]にチェックを入れます。ほとんどの場合必要ありませんが、ディスクへの書き込みでエラーになることが多いパソコンではチェックを入れておくとよいでしょう。

次に、[デフォルト情報]タブをクリックします。ここで設定する内容はユーザ毎に保存されます。

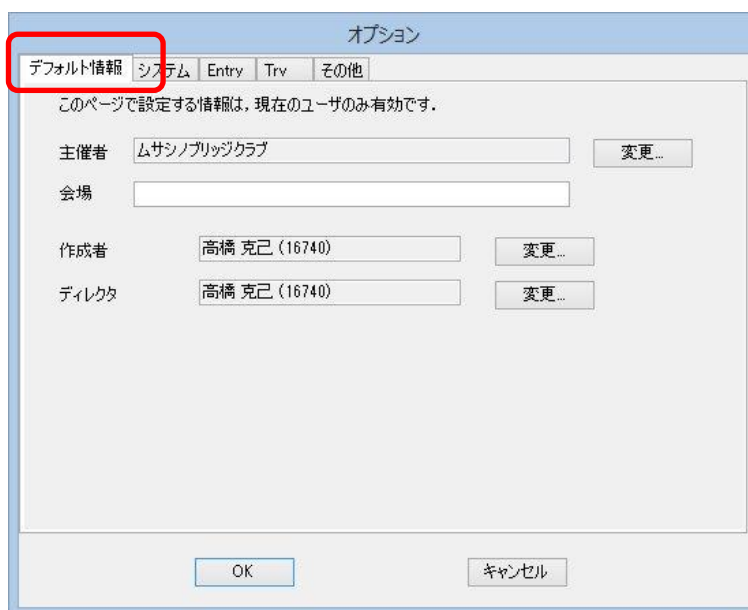


図 3-8

それぞれの設定項目が、そのクラブでほとんど固定のものに関しては設定しておいてください。  
 設定を完了したら、[OK]ボタンで閉じ、JTOS を終了してください。JTOS 終了の方法は、メニューの[ファイル]–[終了]をクリックします。  
 以上でセットアップは完了です。